

タイトル	モルモットの道
ポーランド語のタイトル	Droga świnki morskiej
テーマ *	c
名前	アガタ マリシェフスカ
ポーランド語の名前	Agata Maliszewska
学校名 * 2	ワルシャワ大学日本学科
学年	修士1年生

皆さんは、毎日学校や仕事に行く時、同じ道を選んでいませんか。それはどうしてですか。どうしていつも同じ道を通るのですか。

子供の時、私はいつも何かペットが欲しいと思っていました。猫がとても好きなので、両親に猫を買ってくれと頼みました。

そしていよいよ七歳の誕生日、父がプレゼントを買うために、私を街へ連れて行ってくれました。ペットショップに入った時、私はやっとな猫が飼えるという喜びで胸がいっぱいでした。ところが、何と父は私をモルモットの売り場に連れていき、「ほら、一匹選びなさい」と言ったのです。ええ？モルモット？モルモットと猫は全然違うでしょう。なぜお父さんはモルモットを飼えと言うの？私はとてもがっかりしました。

最初、モルモットはひどく怖がって、あまり遊ぼうとしませんでした。私が近づくと、すぐに逃げってしまうので、友達にはなれないとあきらめ、悲しくなりました。

しかし、後になって、なぜ父がモルモットを飼おうとしたのかわかってきました。モルモットは小さいので、あまりお金や時間がかからないし、ずっとケージの中にいるから、一日家を留守にしても大丈夫なのです。

他にも長所が沢山あります。モルモットはとても頭がいいので、冷蔵庫のドアが開くたびに、毎回「キューイキューイ」と大声を出して食べ物を欲しがります。それに、学校で何か嫌なことがあった時も、彼女は静かに話を聞いてくれます。こんなに小さな動物なのに、おなかも心も広くて大きくて、遊んでいると、私の悩み事を全部のみこんでくれるようです。私たちはしっかり絆を結ぶことができました。

今、あの頃の自分を顧みると、「猫が欲しい」という思い込みで、他の動物がこんなに可愛いとは想像もしませんでした。いつも同じ道を歩いていると、いつかそれは習慣になります。そしてそのうち、それが習慣であることさえ、忘れてしまいます。私はずっと猫の道を歩いていました。しかしあの時、モルモットの道へと進路を変えたことで、私の人生は広がったのです。

皆さんは習慣で、毎日、同じことをしているでしょう。同じ仕事をし、同じ人と会い、同じ店で買い物をするでしょう。でも、それでは世界は広がりません。人は、新しい経験をすることで、人生の素晴らしさを知るのです。

さあ皆さん、時々、習慣とは違うことをやってみませんか。行ったことのない所へ行ったり、食べたことのない物を食べたりして、モルモットの道を歩いてみませんか。そうすればきっと、「私って、こんなこともできるんだ」と、うれしい発見をするはずですよ。もしかしたら、皆さんもモルモットが好きなのだと気付くかもしれませんよ。